

平成27年度 自己評価結果公表シート

学校法人清明学園
幼保連携型認定こども園さつなえのもり

1. 本園の教育目標

「豊かな保育を通して、生きる力を育てる」(やさしい子、かしこい子、つよい子)

- ・豊かな人間関係がつくれ、思いやりのある子
- ・何事にも関心を示し、意欲的で想像力と創造性の豊かな子
- ・健康な心身を持ち強い意志と自立心と自律性のある子

2. 今年度の重点目標

「一人一人が集団の中で育ち合う、豊かな保育環境作りを目指す」

子ども一人一人の個性を尊重し、子どもが自分で考え、判断し、行動するという自発的で主体的な活動を納得いくまで取り組めるようにすると共に、乳幼児期こそ育つ豊かな感性を最大限伸ばしていけるような保育環境作りを目指していく。

I「全体的な計画」に基づく保育の計画性についての評価結果及び改善策

【幼児部】

- ・その時期の子どもに合った計画を立て、見通し持って保育を行った。
- ・打ち合わせを密に行い、共通理解を持ってチーム保育に取り組んだ。
- ・子ども達のアイデアを取り入れたり、静的、動的のバランスのとれた保育を行うなど工夫していた。

【乳児部】

- ・年間計画を見ながら月案・週案を立てることで子どもの発達に応じた保育ができた。
- ・月案・ねらいを基に、余裕を持ったスケジュールで日々の生活を大切にしながら進めてきた。

II「保育の在り方、幼児への対応」についての評価結果及び改善策

【幼児部】

- ・「自分でやってみよう」という気持ちに繋がるよう小さな「できた」を沢山経験できるように心掛けていた。
- ・担任の心がけにより、自然に「ありがとう」の感謝の言葉がでるようになってきていた。
- ・子どもが主体的に活動できるよう保育内容や指導の方法も工夫していきたい。

【乳児部】

- ・保育の質を高めるための勉強、保育の見直しを日々行っていた。その結果、昨年度より子どもへの対応に余裕を持ってかかわることができた。
- ・常に子どもに寄り添い、丁寧にかかわって一緒に成長していきたい。

III「研修と研究」についての評価結果及び改善策

【幼児部】

- ・研修で学んだことを子どもに伝えたり、一緒に体験することで感情や感動の共有を図りたい。
- ・「研修報告書」を提出することで、研修後にも改めて振り返りができて良かった。

【乳児部】

- ・研修で学んだことを、保育に生かすことができた。
- ・様々な保育教諭の研修報告書を見て学ぶことも多かった。

IV「保護者への対応」についての評価結果及び改善策

【幼児部】

- ・お父さんウィークなどを通して、父親側から考える子どもへの思いを聞くことができ貴重な時間を過ごせた。
- ・子どもの良い点、課題点など伝え、子どもの成長の為に一緒に考え援助していくことを大切にしていた。
- ・子どもの様子を伝えるのに、一部の保護者に偏らないよう全ての保護者と共有できるよう心掛けていきたい。

【乳児部】

- ・連絡帳や送迎時のかかわりでしっかりとコミュニケーションをとることができた。
- ・保護者によって伝わりかたは様々なので大切なことは直接会って話すことを心がけた。

V「地球の自然や社会とのかかわり」についての評価結果及び改善策

【幼児部】

- ・季節ごと自然に触れて遊んだり、実験などを通して子どもの興味が広がっていった。
- ・挨拶を通して様々な人とかかわりが持てるようにしていきたい。
- ・乳児部やこあらくらぶ、あそぼうデーなどで未就園児とかかわりを持つことで子ども達の普段とは違う姿が見られたり、優しさが育った。貴重な体験とつながりを持つことができて良かった。

【乳児部】

- ・小さいながらも園外活動を通して様々な発見をし、自然を楽しめた。
- ・2歳児はグループホームへ行き、お年寄りと交流をしたことは良い経験になった。